

イタリア語イタリア文学研究室によこそ！



土肥秀行（主任、教授、写真左端）
 ロレンツォ・アマート（准教授、左から3人目）
 在籍者 教員 教授1 ネイティブ准教授1 助教1 PD 1
 非常勤講師4 学生 学部2 修士2 博士3
 （院生のうちSpring GX生1 学振DC1卓越1）

1

さまざまなイベント、最新の情報は
 フェイスブックのページへ

<https://www.facebook.com/ItalianisticaTokyo>



なんでも問い合わせはこちら

l_sel@l.u-tokyo.ac.jp

（研究室・授業見学や個別の進学相談を随時受付中）

2

どんな研究室？

- 2025/4/1「**イタリア語イタリア文学**」研究室に改称しました。もともと「イタリア語イタリア文学研究室」と名乗っていました（1979~1993）。
- 実際、常に**イタリア文学**のみを扱ってきました。
- イタリア文学を専門的に学べるのは、本学と京都大学（軍事同盟締結時1940年設立）のみです。
- イタリア語の原著に関しては、**日本一の蔵書数**。
- 駒場キャンパスで1,2年のときに、**第二外国語イタリア語クラス**でイタリア語を学んでから進学するパターンが多いです。イタリア語選択でなくてもかまいません。
- 社会経験を経て、「**学士入学**」によって3年生次に編入してくる人もおり、所属学生の年代は多様です。

3

こんな授業があります

- 3年生、4年生、修士課程（2年）、博士課程（3年）
 講読・輪読（通史的に学べる！）
- 13世紀 滑稽詩、ダンテの抒情詩
 - 14世紀 ボッカッチョ 散文
 - 15世紀 カンパネッラの詩（大学院）
ルネサンス的人文主義者**アルベルティ**による論文
 - 16世紀 詩形マドリガーレ〜歌曲
 - 17世紀 **マリーノ**派〜バロック詩（大学院）
 - 18世紀 ゴルドーニ**喜劇**、フォスコロ書簡小説
 - 19世紀 **レオパルディ**のロマン派詩、**ヴェルガ**らイタリアのリアリズム文学短篇
 - 20世紀 前衛詩、現代の小説（カルヴィーノ、パズリーニ）

これとは別に

- ・ 講義形式「イタリア語・イタリア文学史」（13~18世紀）
「イタリア文学史」（19, 20世紀）
- ・ ネイティブ教員とのイタリア語会話練習

4

卒業論文・例

- 『アントニオ・タブッキ“遠い水平線”におけるメランコリーの様態』（2022年度、修士に進学）20世紀
- ・ジャンバッティスタ・マリノーの恋愛詩（2023年度）17世紀
 - ・ルイジ・プルチ『大モルガンテ』のレトリック、モチーフ（貴婦人、幻獣）（2023年度）15世紀
 - ・ロッシーニのオペラ台本研究（2024年度）18,19世紀

修士論文・例

- 『ダンテ『神曲』における宗教的「保守性」の検証』（2023年度）14世紀
- 『聴取する抒情——モンターレ第四詩集『サートゥラ Satura』における時間と信をめぐる』（2024年度）20世紀
（研究科長賞受賞）

博士論文・例

- 『ジャコモ・レオパルディ研究：自然観と「無限」の詩学』（2014年度、2022年に書籍化）19世紀
- 『ゴルドーニの演劇改革～同時代人の批評を通して～』（2004年度、2022年に書籍化）18世紀

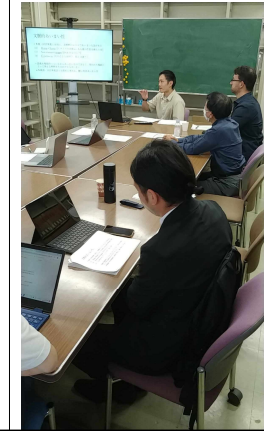
5

学部から大学院まで
所属学生で行った合同発表会での発表タイトル



合同研究発表会 2025 夏

- 11:30-12:15 01 本吉 葉(4年生)
ジョルジョ・マンガネッリの生涯と著作群—特にその評論に着目して
- 12:15-13:00 02 岡村千絵 M1
ファシズム期の作曲家、オットリーノ・レスピーギ(1876-1936)
- 13:00-13:45 03 伊藤 渉 M2
L'Adoneの相補性 -V-VIII におけるモチーフの場合
- 13:45-14:30 04 Tristan Chiffolleau
Identità in movimento: il cinema come lente
sulle migrazioni italiane e giapponesi in Brasile
- 14:30-15:15 05 池田知穂 D1
抒情詩の「聴取の主体 soggetto ascoltante」に関する前提的考察
- 15:15-16:00 06 渡辺元裕 D2
写本挿絵との関係から考える、
ダンテのホーエンシュタウフェン家描写とその解釈
- 16:00-16:45 角田からあ PD フォトディナミズムの理論と実践：A・G・
ブラガーリア『未来主義フォトディナミズム』の総合的研究と作品総目録
（博士論文についての報告）
- 16:45-17:45 土肥篤氏 講演



6

研究室主催イベント（最近のものから）

- ① **ダンテ『神曲』**の図像学についての国際シンポジウム（イタリアとアメリカの研究者も発表）
- ② 和田忠彦氏講演会「いまなぜ**カルヴィーノ**か」
- ③ 高田和文氏訳、ダリオ・**フォー**『喜劇集』講演会（1997年ノーベル文学賞）
- ④ バルバラ・メアッツィ氏（コート・ダジュール大学）講演会「**未来派**と第一次世界大戦」
- ⑤ ジョルジョ・ビアンコロッソ氏（香港大学）講演会「**パゾリーニ映画**における音楽」
- ⑥ ステイリオス・フルムジャディス（ギリシャ大使館）「ギリシャにおける**ボッカッチョ**のデカメロン」
田中真美（京都大学）「日本におけるボッカッチョ」
- ⑦ 国際シンポジウム「ローマから東京へ—“廃墟”論の東西」（美学、美術史、イタリア文学、日本学）

7

多くの研究者が短期滞在し、学生のために
セミナーをひらきます。最近の例

2024/5 マッテオ・カザーリ
（ボローニャ大学准教授）

2025/5 ヤコポ・ペザレージ
（ボローニャ大学研究生）



2025/6-7 トンマーゾ・ペーペ（上写真）
（北京 对外経済貿易大学准教授）

8



ダンテ
国際シンポジウム

Simposio Internazionale
La rappresentazione di Dante e della *Commedia*, dalle prime
miniature trecentesche al Giappone contemporaneo.
Università di Tokyo, Campus Hongo, Aula 115 (Law & Letters Bldg. 5)
sabato 10 giugno 2023, 13.30-17.00 - in diretta su Zoom

国際シンポジウム
ダンテ『神曲』を讀くー14世紀の細密画から現代の日本まで
2023年6月10日(土) 13.30-17.00
東京大学本郷キャンパス法文1号館115教室 Zoom 併用

PROGRAMMA

13.30-14.00: Lorenzo Amato: presentazione del convegno.
15.00-15.15: Discussione: 質疑
15.15-15.25: Passa: 挨拶

14.00-14.20: Cro. Penna (Università della
Compagnia Luigi Vanvitelli)
Le miniere dell'Immaginario dantesco
15.25-16.05: Lorenzo Amato (Università di
Tokyo)
Le politiche dell'Intermezzo: la rappresentazione
di Dante e della *Commedia*, dall'illustrazione
liberale al Giappone contemporaneo

14.20-15.00: Arielle Sauer (Johns Hopkins
University)
"Che se di tutte / che parte il lume dentro"
tra artisti contemporanei fanno luce su
personaggi danteschi attraverso tempi (città)
15.00-15.45: Tawada Yoko (Università di
Tokyo)
La grande di un Dante giapponese nel mondo
contemporaneo

15.45-16.05: Tawada Yoko (Università di
Tokyo)
La grande di un Dante giapponese nel mondo
contemporaneo

16.05-16.45: Tawada Yoko (Università di
Tokyo)
La grande di un Dante giapponese nel mondo
contemporaneo

16.45-17.00: Sottoli: 閉会の辞

Q: Interventi saranno tenuti in italiano con traduzione in giapponese.
Per richiedere il libro: info@scienza-nuova.jp (Dati: 10/06/2023)
Dati: 10/06/2023 (Dati: 10/06/2023).
本シンポジウムは、100%非営利で2023年10月10日の開催を定めています (©2023 Lorenzo Amato).

Campus Map

9

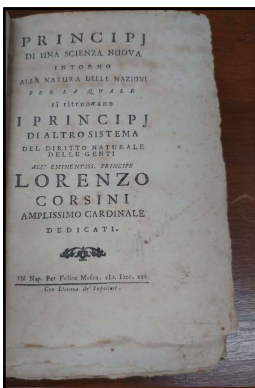


イタロ・
カルヴィーノ
生誕100年記念
講演会



和田忠彦
東京外国語
大学
名誉教授
による


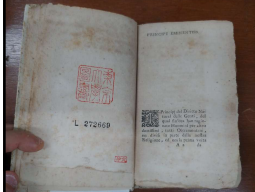

10



研究書の蔵書で
もっとも貴重な一冊

Giambattista Vico
Scienza nuova (1725)

18世紀ヨーロッパに
とって革新的な反デカルトの著
ヴィーコ『新しい学』
の初版本
その価値は・・・

11

研究書の蔵書で
もっとも貴重な一冊です。
18世紀ナポリの思想家ジャンバッティスタ・
ヴィーコGiambattista Vico『新しい学』*Scienza
nuova*の1725年刊、初版本です。当時デカルトのむ
こうをはり主観の相対化を図り、いまなお危機の
時代の書としてアクチュアリティを放つ革命的な
書です。この初版本は、決定版のもととなった、
1730年と1744年に出版された作者による改訂版と
ともに『新しい学』コレクションを成しています。

国際的な古本オークションに出せば、現在2000万
円はくだらない・・・

12

どんな研究がなされているか具体的にわかる
研究室が出している論文集（年刊）

所属する教員と大学院生が書いています。

『イタリア語イタリア文学』第9号（2024/03）

https://researchmap.jp/read0146667/published_papers/45895703/attachment_file.pdf



13

『イタリア語イタリア文学』第9号（2024/03）【目次】

1. Lorenzo Amato, *Le Pietre di Antonio Buonaguidi. Edizione critica e commento* 13
2. 渡辺元裕、清貧及びコンスタンティヌス帝の寄進を巡るダンテの思想 45
3. 横田太郎、レオン・バッティスタ・アルベルティ『家族論』と文人の公益性—誰に向けて書くのか 69
4. 土屋美子、ポリツィアーノ『スタンツェ』におけるエクフラシスの受容 89
5. 上西明子、メタスタジオの台本改革前夜—先駆者たちの悲劇の試み 119
6. 倉重克明、ジョヴァンニ・ヴェルガ創作晩期の物語言説をめぐって 141
7. 長野 徹、児童文学におけるヴェリズモ—G.E. ヌッチョ『コンカドーロ物語』をめぐって 171
8. 土肥秀行、未来派の女性論を読む 191
9. 山崎 彩、迷宮の構築—クラウディオ・マグリスの小説における複雑な語りの形態について 211
10. 池田知徳、時の転倒—タブッキ『黒い天使』をめぐって 233

14

最新 ダンテ特集号

（図版多数）

『イタリア語イタリア文学』第10号（2025/09）

https://researchmap.jp/read0146667/misc/50821324/attachment_file.pdf



15

Lorenzo Amato (a cura di), *La rappresentazione di Dante e della Commedia: dalle prime miniature trecentesche al Giappone contemporaneo*,

«Lingua e Letteratura Italiana», Bollettino del Dipartimento di Lingua e Letteratura Italiana, Università di Tokyo, X (2025), Tokyo, Sōbun-sha.

ロレンツォ・アマート編特集「ダンテ『神曲』を描く—14世紀の初期細密画から現代日本まで」、『イタリア語イタリア文学』第10号（2025）（東京、双文社）

Sommario 目次

1. Lorenzo Amato, Prefazione 序
2. ロレンツォ・アマート「ダンテ『神曲』を描く—14世紀の初期細密画から現代日本まで」
3. Elisabetta Tonello, *Una nuova edizione critica della Commedia di Dante*
4. Ciro Perna, *La nascita dell'iconografia dantesca tra narrazione e interpretazione (in due codici miniati)*

16

5. Tanaka Mami, *Appunti su tre edizioni illustrate di Dante conservate nel fondo Kyokkō dell'Università di Kyoto*
6. Watanabe Motohiro, *La Ricezione di Dante nella letteratura popolare giapponese del secondo dopoguerra*
7. Lorenzo Amato, *Dalle cronache del Male alle action-figure del Vero: gli inferni ibridi e ambigui di Chiba Kazumasa*
8. アリエル・サイベル「《夜、灯火を背後に掲げて進む》—困難な時代をダンテとともに歩む3人のアーティスト」

ほぼ伊語論文がなっていますが、日本語論文もあり、また日英伊の要旨がついています。図版ページが充実しているので、オンラインでみてみてください。

最後に

なにかしらおもしろいものがみつかるイタリア文学。進学の際にかならずしもイタリア語ができなくてもかまいません。好奇心さえもっていてくれれば。

教員も学生も数名ずつと少ないけれど、よい「質」でよい空気の研究室をつねにめざしています。

いちど見学しにきてください。
文学部3号館の8階でまっています。

l_sel@l.u-tokyo.ac.jp